

2013年
クイーン倶楽部だより 7月号
第127号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL http://www.eco-rice.jp/
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



枝豆職人・笠原茂樹さんの
新潟の枝豆
ご注文受け付け開始!



毎年恒例の笠原茂樹さんの枝豆が今期も登場！
太陽と大地、笠原さんの愛情をたっぷり受けて育った枝豆を朝収穫し、その日のうちに発送します。毎年たくさんのご注文をいただいている人気商品ですので、ご予約はお早めにも！

注文方法につきましては「ふるさと特産品・夏」をご覧ください

枝豆が食卓へ届くまで

- 1 早朝5時から始まる収穫作業。一番おいしい実の入りすぎる前の枝豆を株ごと引き抜く。
- 2 軽トラックに積み込んで、選別場所へ。
- 3 奥の機械で枝から実をもぎ、コンベアで流れてきた枝豆を手作業で選別。



平素より生きがい最大の健康源といい続けて来ましたが、それを裏付けることがあり、自信をつけましたので披露してみます。

ある五十歳の男性が長引く病気に不安を感じ、がん専門を受診したところ、がんといわれ余命数ヶ月と宣告されました。医師に抗がん剤治療を言われましたが、余命いくばくも無いと言われたのに、抗がん剤の意義を疑問視しました。というのは、彼は抗がん剤治療して元気がなくなり死亡していった友人を知っていたのです。治療を断ったところ、主治医が急に冷たくなり、その後の診察でけんもほろろになってしまいました。

彼は私の主催する会に時々出席していましたが、皆にお別れしたいと出席しました。そして、自分は末期がんである、後数ヶ月の命、次回の会には命尽きているかもしれないと別れの挨拶をしました。淡々とした挨拶に私を含め全員がかなりの衝撃を受けました。

私は医師から見放された彼を救うには、生きがいがないかと思ひ、数日後に暇だったら、ホームページを作つて欲しい、山菜の会の面倒を見て欲しい、などと頼んだところ、一人である気が滅入るといつて了承し、ボランティアするようになりしました。

それが、靈験あらたか、顔色も良くなり、食欲が出るようになりました。何より、主治医よりがんは縮小してないけど、綺麗になつてきたと不思議な顔で何か治療しているかと聞かれ、定期的に見せて欲しいと頼まれたそうです。

もつ、死亡宣告期間は過ぎたのですが、本人は元気です。病気を知っている人に、本当に末期がんのと訝しげに聞かれると苦笑していました。彼は山菜のことを任せられているが、これが病気に効くのか、と食べまくっているのだと苦言を話してくれました。

あることに夢中になつたら、せめて後数ヶ月の命が欲しい、死んでいられない、と生入の強い執着心が出てきます。彼がもつて元気になる、承らえたら会の広告塔になつてもいい、と、あつたてで講演してゆく、と、この生きがいの私に生きがいでもあつてます。

ドクター
中村の
健康
徒然記
その29

生きがいは健康の元だ！



中村 信也(なかもりのぶや)
医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療の医学薬膳研究の第一人者」として活躍中。

中村先生著書
やっぱり日本人は米だ!!
- Dr.中村お米を語る -
好評発売中!